

令和5年10月18日（水曜日）

## 足立敏之参院議員を励ます会



## 日本のインフラ「一流に戻る」

自民党の足立敏之参院議員を「励ます会」が16日、東京都千代田区の砂防会館で開かれた。政界や建設業界から多くの関係者が駆け付け、建設産業とインフラの再生を掲げて国政で奮闘する足立氏を激励。足立氏は「日本経済が再び世界で一流となるには、日本のインフラも一流のものに戻していかなければならない」と訴え、これまで以上に公共投資が確保されるよう力を尽くす考えを表明した。写真。

励ます会には政界から林芳正衆院議員や根本匠衆院議員らが出席。ビデオメッセージを寄せた岸田文雄首相は「防災・減災、国土強靱化の持続的で安定的な実施による安全・安心な国土づくりや、日本の国際競争力向上を支える物流インフラの再生は、生産性向上と賃上げを実現し、日本のさらなる経済成長を生み出す『成長と分配の好循環』につながるものと確信している」と話し、足立氏のさらなる

## 公共投資の確保に尽力

活躍に期待した。

あいさつに立った足立氏は「日本のインフラを見ると、欧米や韓国、台湾などアジア諸国と比べても残念な状態にあると痛感する」と切り出し、停滞する経済成長との関連性を指摘。公共事業予算の確保を通じ「日本のインフラをしっかりと立て直していきたい」と意欲を示した。政府が月内にも取りまとめる経済対策を当面のターゲットに据え、政府機関に防災・減災、国土強靱化の予算確保を強力に働き掛けていく意向を示し「昨今の人件費アップ、資機材高騰もあり、対前年同額であれば実質的に目減りする。何としても増額をお願いしたい」と話した。